

学ぶ楽しみ

リハビリテーション学部 作業療法専攻 山口智晴

・この専攻でどういうことを学ぶのか。

1年生で人間の身体の仕組みや構造（生理学や解剖学など）と共に、リハビリテーションの基本的な考え方を学びます。2年生では、内科学や整形外科学、神経内科学、小児科学、精神医学などの専門医学を通して様々な疾病や障害を学びます。3年生になると作業療法評価学・治療学を本格的に学びます。これは、目の前の対象者が生活のどこに困っているかを把握し、その背景にある問題を専門的見地から分析し、支援の手段を検討する学問です。そして、これらの座学を実践的な技能に結びつけるため、1,000時間以上もの臨床実習を経験して、作業療法士として働くための最低限の知識と技術を身につけます。それ以外にも、作業療法士になってから症例報告や学会発表をするためのスキルを身につけるため、統計学や研究法なども総合的に学びます。

・この専攻を学ぶ楽しさはどこにあるのか。

先ほどの説明で「難しそう」と感じた人もいるかもしれません。確かに作業療法の学問は簡単ではありません。アメリカでは最低でも修士以上の学位が必要です。もちろん、日本とは制度や社会背景が異なりますが、それほど奥深い学問なのです。

ところで、皆さんの生きがい、楽しみは何ですか？ 動画サイトの閲覧や友人とのショッピング、カラオケ、もしくは恋人とのデートでしょうか。人によって、楽しみも生きがいも異なります。住んでいる家も、環境も家族構成も異なります。十人十色という言葉の通り、人の生活は非常に多彩で、その価値観も多様です。我々は医療職ですが、医師の様に疾病を治療対象とするのではなく、疾病や障害による生活上の困難さを治療対象とします。疾病や障害によって不便なことは増えても、それが不幸とは限りません。作業療法の学問を追究すると、自分自身も幸せに生きるためのノウハウを身につけられるので、豊かな人生を歩むことができます。そこが作業療法学を学ぶ楽しさではないでしょうか。

・この専攻で学んだことがどのように役に立つのか。

作業療法の「作業」とは人の生活の全てです。人の生活を細かく分類してみると、食事や着替え・入浴・排泄など生きていく上で必要な活動の他に、掃除・洗濯、金銭や服薬管理などの生活管理もあります。その他にも、仕事や勉強、趣味活動や余暇活動、休養など様々な生活行為があります。皆さんは普段は何気なくそれらの作業をしているので、意識することは少ないでしょう。しかし、病気や障害によって、それら作業のどれか一つでもできなくなったら、どうでしょうか？ 皆さんも、コロナ禍で自由に外出ができなくなり、学校の友達と会えなくなって、強いストレスを感じませんでしたか？ それは、「当たり前」の作業ができなくなったことによるものです。人は大規模災害や病気・障害などで、今までの生活ができなくなって初めて、その“当たり前”の大切さに気付くのです。それら“当たり前”の作業を支援する技術は、医療は保健、福祉に限らず様々な分野で役立ちます。

・この専攻を学んだ人がどのような職業に就くか。または社会貢献が可能か。

多くの作業療法士は病院などの医療機関で働いていますが、作業療法士は様々な分野で活躍できる仕事です。福祉・介護分野だけでなく、地域での介護予防や特別支援学校でのアドバイザー、障害者の就労支援など、幅広い分野で活躍しています。最近では、刑務所や運転免許センターで活躍している作業療法士もいます。

リハビリテーションというと、「筋肉を鍛え、歩行訓練で歩けなかった人が歩けるようになった！」その様なイメージを持っていませんか？ 現実的には、病気や障害が完治して元通りになる！という方は少数です。多くの方が、病気や障害とともに人生をまた歩み始めます。例えば、アルツハイマー型認知症は進行性の病気で、根本治療薬も治療法也没有ありません。それでも、認知症とともに幸せに生活することはできます。がん末期の人に対する作業療法もあります。医学的に元の機能を再獲得することだけがリハビリテーションではありません。その人の“当たり前”を取り戻すのがリハビリテーションであり、作業療法なのです。わが国はこれから前人未踏の高齢社会を迎えます。この作業療法の技術が社会に役立たないはずがありません。

・この専攻の理解をさらに深めるためのお薦めの一冊

勝屋なつみ(著)『作業療法はおもしろいーあるパイオニア OT のオリジナルな半生ー』(株式会社シービーアール)

日本における作業療法の第一人者、鎌倉矩子氏が葛藤しながら日本の作業療法を構築していく過程が書かれています。作業療法に対する理解が深まることでしょう。

ただ、今は便利な時代です。手軽に作業療法について調べたい方は、まず日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。作業療法士の仕事内容について理解を深めることができる動画やパンフレットなど様々なコンテンツが豊富に揃います。

その中で TEAM OT というページがあります。がん、小児領域、精神科領域、地域の訪問リハビリテーション、難病、装具、放課後クラブなどなど、様々な領域で活躍する全国のプロフェッショナルな作業療法士達の活躍を見ることができますので、是非とも覗いてみてください。私の取り組みも紹介されています。



こちらの URL または QR コードからご覧ください

●日本作業療法士協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

●日本作業療法士協会ホームページ TEAM OT

https://www.jaot.or.jp/ot_support/team_ot/detail/18/

